

教科	国語	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界はうつくしいと	1	・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ →詩に用いられている語句や表現に着目して考えている。		・進んで語感を磨き、友達の考えや今までの学習を生かして詩の解釈や朗読をしようとしている。
握手	5	・抽象的な概念などを表す語句などを用いて、人物像を表すことができる。 ・作品の展開を踏まえて人物像を捉え、その生き方について考えを深めることができる。	・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えている。 ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。	・物語の展開のしかたを粘り強く捉え、今までの学習を生かして読み深めた感想を交流しようとしている。
漢字1 熟語の読み方	1	・音と訓の組み合わせに着目し、熟語の読み方について理解を深めることができる。	・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア)		・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
文法への扉	2	・文法の知識を生かした推敲や読解のポイントについて理解することができる。	・単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。(2年(1)オ)		・助詞や助動詞の働きなどを進んで振り返り、今までの学習を生かして設問に取り組もうとしている。
作られた「物語」を超えて	5	・論理の展開における、具体と抽象の関係を捉える。 ・論説の特性を踏まえて読み、論理の展開の仕方を捉える。	・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) →ゴリラの事例と人間社会の話に着目して、「具体と抽象」の関係を理解している。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。(C(1)ア) →論説の特性を踏まえ、「具体と抽象」の関係に着目して、論理の展開のしかたを図式化するなどして捉えている。	・進んで文章の構成や論理の展開を捉え、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。
論理の展開を意識して書こう	2	・目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすることができる。 ・文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。	・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) →資料から読み取った事実の中から、自分の意見を支える適切な根拠を選んでいく。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ)	・論理の展開や意見と根拠、それらを結び付ける「理由づけ」などを粘り強く考え、学習課題に沿って説得力のある小論文を書こうとしている。

俳句の可能性 俳句の創作教室 俳句を味わう	6	・俳句の表現意図による語句の使い分けに着目し、語感を磨く。 ・俳句の作者の表現意図を考え、表現の仕方を評価することができる。	・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ((1)イ) →俳句で使われている語句の意味を理解したり、豊かなイメージを喚起する効果的な語句に着目したりしている。	・「読むこと」において、俳句の構成や表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ) ・「書くこと」において、表現のしかたを考えるなど、自分の考えがわかりやすく伝わる俳句になるように工夫している。(B(1)ウ)	・進んで表現のしかたなどを評価し、学習課題に沿って鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている。
言葉 和語・漢語・外来語	1	・和語・漢語・外来語や、時代や世代による言葉の変化について理解し、適切に使い分けすることができる。	・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ((1)イ) →和語・漢語・外来語について理解し、相手や場面に応じて適切に使い分けしている。		・進んで和語・漢語・外来語を理解し、今までの学習を生かして、相手や場面に応じて適切に使い分けようとしている。また、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて進んで理解し、学習課題に沿って相手や場面に応じた言葉を選んで伝えようとしている。
思考のレッスン 具体化・抽象化	1	・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。	・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 ((2)ア) →具体と抽象の関係にある論理の展開のしかたや、具体と抽象の程度を捉えながら読んだり書いたりしている。		・具体と抽象の関係について積極的に理解し、学習した内容を生かして問題に取り組もうとしている。
報道文を比較して読もう	4	・情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。 ・目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすることができる。	・情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 ((2)イ) →発信者の立場や意図を踏まえ、情報の信頼性や妥当性を吟味している。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。 (B(1)ア) →観点ごとに情報を整理し、情報の客観性や信頼性を確認している。	・文章の種類を踏まえて、積極的に情報を読み取り、学習課題に沿って実生活への生かし方を考えようとしている。 ・文章の構成や論理の展開、表現のしかたなどを進んで捉え、学習課題に沿って報道文を比較し、自分の考えをまとめようとしている。
情報整理のレッスン 情報の信頼性	1	・情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。	・情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 ((2)イ) →情報の発信日時、発信源、情報を伝える目的などの観点から、情報の信頼性を確認している。		・積極的に情報の信頼性の確かめ方を理解し、学習したことを生かして問題に取り組もうとしている。
読書を楽しむ	2	・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。	・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 ((3)オ) →読書活動を通して、読書の楽しさや意義を発見している。		・進んで読書の意義と効用について理解し、学習の見通しをもって読書を楽しむ活動に参加しようとしている。

「私の一冊」を探しに行こう	1	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ) 一本のさまざまな探し方について理解し、今後の読書生活への生かし方を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) 登場人物の生き方、作品に描かれた時代、社会状況などの観点から、自分の考えを書評などにまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで本の探し方について理解し、今までの学習を生かして本を選んだり読んだことを書評などにまとめたりしようとしている。
挨拶	2	<ul style="list-style-type: none"> 語句の辞書的な意味や語感を踏まえて、文脈上の意味や効果を考えることができる。 詩の表現の効果を評価し、現代社会の状況と重ね合わせながら考えを深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ) 語句の辞書的な意味や語感を踏まえて、文脈の中での意味や効果を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、詩の構成や表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ) 「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) 	<ul style="list-style-type: none"> 詩の構成や表現のしかたを積極的に評価し、学習課題に沿って読み深めた詩について、感じたことや考えたことを伝え合おうとしている。
故郷	6	<ul style="list-style-type: none"> 人の生き方や社会との関わり方を考える上での、読書の意義を理解することができる。 作品を批判的に読み、時代や社会の中で生きる人間の姿について考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ) 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ) 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) 	<ul style="list-style-type: none"> 文章を批判的に読むことに積極的に取り組み、今までの学習を生かして小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。
聞き上手になろう	1	<ul style="list-style-type: none"> 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うことができる。 話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表A(1)エ) 	<ul style="list-style-type: none"> 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。(1)エ) 対談の話し手や聞き手として、適切な言葉遣いを選択している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 話の展開を予測しながら積極的に聞き、今までの学習を生かして対談しようとしている。
言葉・慣用句・ことわざ・故事成語	1	<ul style="list-style-type: none"> 慣用句やことわざ、故事成語について理解を深め、日常生活での使用場面を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ) 慣用句を使って短文を作ったり、ことわざや故事成語の意味や使い方を調べたりしている。 		<ul style="list-style-type: none"> 慣用句やことわざ、故事成語の意味や使い方について積極的に調べて理解し、今までの学習を生かして短文を作ろうとしている。
言葉・漢字の造語力	1	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の造語力について理解する。国語辞典や漢和辞典を利用して、練習問題を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア) 漢字の造語力を意識しながら、漢字の意味を理解し、読んだり書いたりしている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。

学びて時に之を習ふ	4	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的背景に注意して「論語」を読み、長く受け継がれてきた名言の意味を理解することができる。 ・人間の生き方についての孔子の考え方を、自分たちと関連付けて捉えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。((3)ア) ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。((3)イ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもって考える。((C1)エ) →人間の生き方に関する孔子の考え方を、自分の生き方や生活と関連づけて考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間、社会、自然などについて積極的に自分の意見を持ち、今までの学習を生かして考えを伝え合おうとしている。
考えを効果的に伝えよう	4	<ul style="list-style-type: none"> ・表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。 ・論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) →「意見と根拠」「具体と抽象」など、情報と情報との関係に関する知識を生かして論理の展開を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) ・「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように、粘り強く工夫し、学習の見通しをもって批評文を書こうとしている。
初恋	1	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の響きやリズムを味わいながら聴き、描かれた情景や心情についてまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) →語句や表現に着目したり、言葉の響きやリズムを味わったりしながら詩に描かれた情景や心情を想像している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・進んで語感を磨き、今までの学習を生かして作品を読んだり自分の考えを述べたりしようとしている。
古今和歌集 仮名序	3	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。((3)ア) →「和歌の世界」と「古今和歌集 仮名序」を読み、三つの歌集の特徴や歴史的背景、和歌に対する古人の思いを捉えている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・進んで古典の世界に親しみ、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
君待つと 万葉・古今・新古今	3	<ul style="list-style-type: none"> ・各歌集の歴史的背景や和歌が詠まれた状況に注意し、和歌の世界に親しむ。 ・和歌に詠まれた情景や心情を読み取り、表現の仕方を評価することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。((3)ア) ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。((3)イ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、和歌の表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ) →三つの歌集に収められた和歌を比較し、特徴的な表現やその効果について、評価している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで和歌の表現のしかたについて評価し、学習の見通しをもって自分の評価を書こうとしている。
夏草「おくのほそ道」から	4	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の歴史的背景に注意して読み、古典の世界に親しむ。 ・文章に表れている作者のものの見方や感じ方に対して、自分なりの意見をもつことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。((3)ア) ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。((3)イ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ) →現代の価値観と比較したり、作者が感動した歴史的背景を確かめたりして、作者のものの見方や感じ方について考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作者のものの見方や感じ方について進んで自分の意見を持ち、今までの学習を生かして発表しようとしている。

それでも、言葉を	4	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事例を挙げるなどして、抽象的な概念への理解を深めることができる。 ・筆者の見方・考え方を踏まえ、言葉に対して自分の意見をもつことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア →抽象的な概念を表す語句について、言葉の意味を辞書などで確かめたり、具体的な事例を挙げたりしながら理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉や社会、人間などについて粘り強く自分の意見をまとめ、今までの学習を生かして理解したことや考えたことについて話し合ったり発表したりしようとしている。
合意形成に向けて話し合おう	3	<ul style="list-style-type: none"> ・進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア →提案の根拠に着目して妥当性を吟味したり、複数の発言の共通点を基に抽象化してまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(A(1)オ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・合意形成に向けて粘り強く考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって話し合おうとしている。
本は世界への扉	2	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで読書の意義と効用について理解し、今までの学習や経験を生かして、読んだ本や興味をもった本について語り合おうとしている。
温かいスープ	3	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間、社会などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。
アラスカとの出会い	3	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) →文章から読み取った筆者のものの見方・考え方や、友達との交流を受けて、自分の生き方について考えをまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。
漢字に親しもう	1	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア) 		<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。

律儀な桜	3	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(思・判・表C(1)エ) 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ) →桜を巡る筆者の経験や考えを読み取ったり、読書が人と自然について考えるきっかけとなることに気づいたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) 	<ul style="list-style-type: none"> 人間、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習や経験を生かして文章にまとめようとしている。
私を束ねないで	3	<ul style="list-style-type: none"> 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) →選ばれた言葉の語感を基に、作者が詩に託したイメージを捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) →詩に描かれた情景や作者の思いを想像しながら、社会と人間、自分の可能性について考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 詩を読んで、進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。
三年間の歩みを振り返ろう	2	<ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。(<ul style="list-style-type: none"> 話や文章の種類とその特徴について理解を深めている。((1)ウ) →自分で設定したテーマと内容、目的に合う文章の種類を検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) 「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ) 	<ul style="list-style-type: none"> 粘り強く言葉を選んだり構成を工夫したりし、今までの学習を生かして、文章にまとめたり、友達の発表を聞いて質問したり評価したりしようとしている。
漢字のまとめ	1	<ul style="list-style-type: none"> 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。((1)ア) →音訓や部首、熟語の構成などに気をつけて、これまでに学習した漢字を読んだり書いたりしている。 		<ul style="list-style-type: none"> 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
初日	2	<ul style="list-style-type: none"> 詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) →選ばれた言葉の語感を基に、作者が詩に託したイメージを捉えている 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) →詩に描かれた情景や作者の思いを想像しながら、人間、社会、自然などについて考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 詩を読んで、進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の内容について話し合おうとしている。
国語の力試し	2	<ul style="list-style-type: none"> 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。 多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 「書くこと」において、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 粘り強く文章や資料を読み取り、今までの学習を生かしてそれぞれの学習課題に取り組もうとしている。